

はじめに

みなさんは、ピノキオの物語をご存じでしょうか。

ピノキオはマリオネットとして作られた木の人形です。木の人形ですから、当然、自分では動くことができません。しかし、子どもが欲しいと願い事をされた願い星の妖精がピノキオに生命を与えます。生命を与えられたピノキオが、自分で考え、自分で判断し、自分で行動し始めるというストーリーが、そこから始まります。

今、必要な力を子どもたちに育むために、子どもたちが主体的・協働的に学ぶ学習として、アクティブ・ラーニングが求められています。このアクティブ・ラーニングでは、これまで教師の指示で動くことの多かった学修者に対して、これからは自主的に協働的に学修することを求めているという点で、ピノキオの物語に似ていると思いませんか。

これまで、学校の授業の多くは、教師の考えた指示や指導によって教師が授業を行ってきました。従来の授業というのは、教師が目標を決め、教師が教材を決め、教師が学習過程を決め、教師が学ぶ順番を決め、教師が指導方法を決め、教師が班やグループを決め、教師がリーダーや司会者を決め、教師が豆先生やミニ・ティーチャーを決め、教師が話し合いや学び合いの方法を決めて子どもたちに伝え、教師が予想や探究や考察の時間を細かく決め、教師が主導してまとめをするものでした。子どもたちは教師の指示に従って動きます。

まるで、ピノキオで言うところの木の人形のピノキオのようです。これでは、教師がアクティブ・ラーニングをしているだけだと言われても仕方なく、子どもたちはパッシブ（受動的）・ラーニングでしかないと言えます。

しかし、これからは、子どもたちが自分で考え、自分で判断し、自分で行動を起こす自主的・協働的な授業が求められます。子どもたち自身が、自分で考えて行動しながら学ぶ授業に変わるのです。子どもたち自身がアクティブ・ラーニングをする授業です。まるで、ピノキオで言うところの、まさに生命を

与えられたピノキオのストーリーの始まりのようです。

私たちは、はじめてのことに取り組むのですから、疑問や不安は尽きません。

いったい、アクティブ・ラーニングというのはどのような授業なのでしょう。なぜ、今、アクティブ・ラーニングなのでしょう。

どのようにして授業をすれば、誰もが納得するアクティブ・ラーニングになるのでしょうか。

でも、安心してください。本書は、あなたのそのような疑問や不安にすべて答えます。

この本を読み終わっているころには、もうあなたはアクティブ・ラーニングで迷うことはありません。明日の授業から、アクティブ・ラーニングの実践の第一歩をすぐに踏み出すことができることは、間違いありません。

本書が、アクティブ・ラーニングをゼロから学びたいと思っているはじめての人たちの近道への羅針盤になるならば、これほど嬉しいことはありません。

2016年7月15日

筆者

はじめての人のためのアクティブ・ラーニングへの近道

目 次

はじめに…………… 1

第1章 アクティブ・ラーニングって何? …………… 7

1. アクティブ・ラーニングっていったいどんな勉強なの? 8
2. アクティブ・ラーニングの定義は何? 10
3. アクティブ・ラーニングは学習? それとも学修? 12
4. アクティブ・ラーニングの3つの重要なポイントって何? 14
5. アクティブ・ラーニングで育てる力って何? 16
6. アクティブ・ラーニングのポイントは倫理的、社会的能力とその汎用的能力を育てること? 18

第2章 なぜ、今、アクティブ・ラーニングなのか? …………… 21

1. 学習指導要領が変わるから? 22
2. 大学入試が公平な試験から公正な試験に変わるから? 24
3. アクティブ・ラーニングで育つ力で合否が決まるから? 26
4. 大学が変わったから? 大学って変わったの? どこが変わったの? 30
5. 大学ではアクティブ・ラーニングで学生を育てるから? 34
6. 大学入試と大学が変わるだけで、なぜ小学校でもアクティブ・ラーニングをしなければならないの? 36
7. 日本の社会がアクティブ・ラーニングによって育成された能力を持った人材を求めているから? 38

第3章 見かけのアクティブ・ラーニングと真のアクティブ・ラーニングの違いって何?…………… 43

1. 今、求められているのはアクティブ・ラーニングをすることではありません? 44
2. アクティブ・ラーニングは教科の授業で「今日は人として正しい姿か?」を問う授業 46
3. それって、アクティブ・ラーニング? 48

4. 見かけのアクティブ・ラーニングに陥る落とし穴は？ 50
5. 今日の授業で何をさせたいのかを教師が決めていなかったらどうなるの？ 52
6. 今日の授業で何をさせたいのかを教師が決めていても子どもたちが知らなかったらどうなるの？ 54
7. 今日の授業で何をしたら良いかを子どもたちが知っていても、自分のことしか考えていなかったらどうなるの？ 56
8. 真のアクティブ・ラーニングにするにはどうすればいいの？ 58
9. 教科の授業で育てる倫理的能力の汎用的能力と、その育て方って何？ 60
10. 教科の授業で育てる社会的能力の汎用的能力と、その育て方って何？ 62

第4章 真のアクティブ・ラーニングへの近道は？ …………… 65

1. 私たちが能動的になるときってどんなとき？ 66
2. 真のアクティブ・ラーニングへ近道する時に必要なこと（欠いてはならないこと）は何？ 68
3. 真のアクティブ・ラーニングへ近道する時に必要なこと（欠いてはならないこと）が30年後を担う子どもたちの能力を育てる？ 74
4. 真のアクティブ・ラーニングへ近道するためには何が大切なの？ 76
5. 真のアクティブ・ラーニングへ近道する授業はどんな授業なの？ 82
6. 真のアクティブ・ラーニングへ近道すると、実際の授業はどんなふうになるの？ 84
7. 真のアクティブ・ラーニングへ近道するために、教師はどんな語りをするの？ 86
8. 真のアクティブ・ラーニングへ近道すると授業が変わるの？子どもたちが変わるの？ 92
9. 真のアクティブ・ラーニングを受けた子どもたちはどう思っているの？

真のアクティブ・ラーニングへの誘いのための図書館	100
あとがき	102